つがる警察署の重点路線・重点地区（令和７年１月～６月）

	重点路線（地区）	指 定 理 由
1	国道101号	五所川原市の繁華街から続く交通量の多い路線で、近年、重大事故の発生は防げているものの、過去には、飲酒運転が原因となる車両複数台が絡む死亡事故も発生しており、実際に飲酒運転の検挙もあることから、重大事故発生抑止のためにも、取締りを強化して実施していくべき路線である。
2	弘前柏線	近年の事故件数は少ないが、弘前方面への通勤ルート等として使用され交通量が多く、実勢速度も速いことから、重大事故防止のため速度超過の取締り等の警察官の姿を見せる取締りを実施する必要がある。また、大きな繁華街を有する弘前市から続く路線であることから飲酒運転の取締りも実施する。
3	妙堂崎五所川原線	大型ショッピングモールなど商業施設が多く建ち並び、交通量も多い路線であり、管内において事故発生件数が最も多い県道である。事故発生時間は日中から薄暮時間帯が多く、漫然運転を原因とする事故や交差点での事故が多く発生している。日中や薄暮時間帯の取締りをはじめ、赤色灯を点灯した状態での警戒走行等を積極的に行い事故抑止を推進する必要がある。
4	菰槌木造線	近年の事故件数は少ないが、観光バスや学校の送迎バス、大型トラック等の大型車両の通行も多く、実勢速度も速いことから、事故抑止のため、速度超過の取締り等警察官の姿を見せる取締りを強化して実施する必要がある。
5	柏地区	大型ショッピングモールなどの多くの店舗が建ち並び、交通量が最も多い地区であり、国道101号や複数の県道が通り、管内において事故発生件数が最も多い地域である。事故発生時間は日中から薄暮時間帯が多く、様々な事故形態の事故が散見される。日中や薄暮時間帯の取締りをはじめ、各種取締りを推進し、赤色灯を点灯した状態での警戒走行等を積極的に行い事故抑止を推進する必要がある。
6	木造地区	柏地区に次いで交通事故が多く、令和6年中に死亡事故が連続発生した地区である。地区全体が広大で、管内で最も学校が多い地区でもあるため、児童の安全確保のためにも横断歩行者の保護活動を強化していく必要があり、また、連続発生した死亡事故は、田園地帯の十字路交差点での出会い頭の事故であることから、市街地・非市街地にとらわれず、全域で赤色灯を点灯した状態での警戒走行や取締りを積極的に行い事故抑止を推進する必要がある。
7	稲垣地区	近年の地区管内での事故件数は少ないが、過去の事故発生状況を見ると、発生件数に対して死亡事故や重傷事故の割合が高い地区であることから、駐留警戒、警戒走行の強化など、警察官の姿を見せる活動や取締りを強化し、重大事故を抑止していく必要がある。

※ 重点路線・重点地区以外の場所であっても、取締りを実施することがあります。

つがる警察署の交通指導取締り方針（令和７年１月～６月）

	重点路線（地区）	重点的に取締りを実施する違反種別						
		速度超過	信号無視	一時不停止	横断歩行者妨害	飲酒運転	シートベルト	自転車
1	国道101号	○	○	○		○	○	○
2	弘前柏線	○	○	○		○	○	
3	妙堂崎五所川原線		○	○		○	○	○
4	菰槌木造線	○	○	○			○	
5	柏地区	○	○	○			○	
6	木造地区	○	○	○	○	○	○	○
7	稲垣地区	○					○	

※ 重点指定されていない違反種別についても、取締りを実施することがあります。